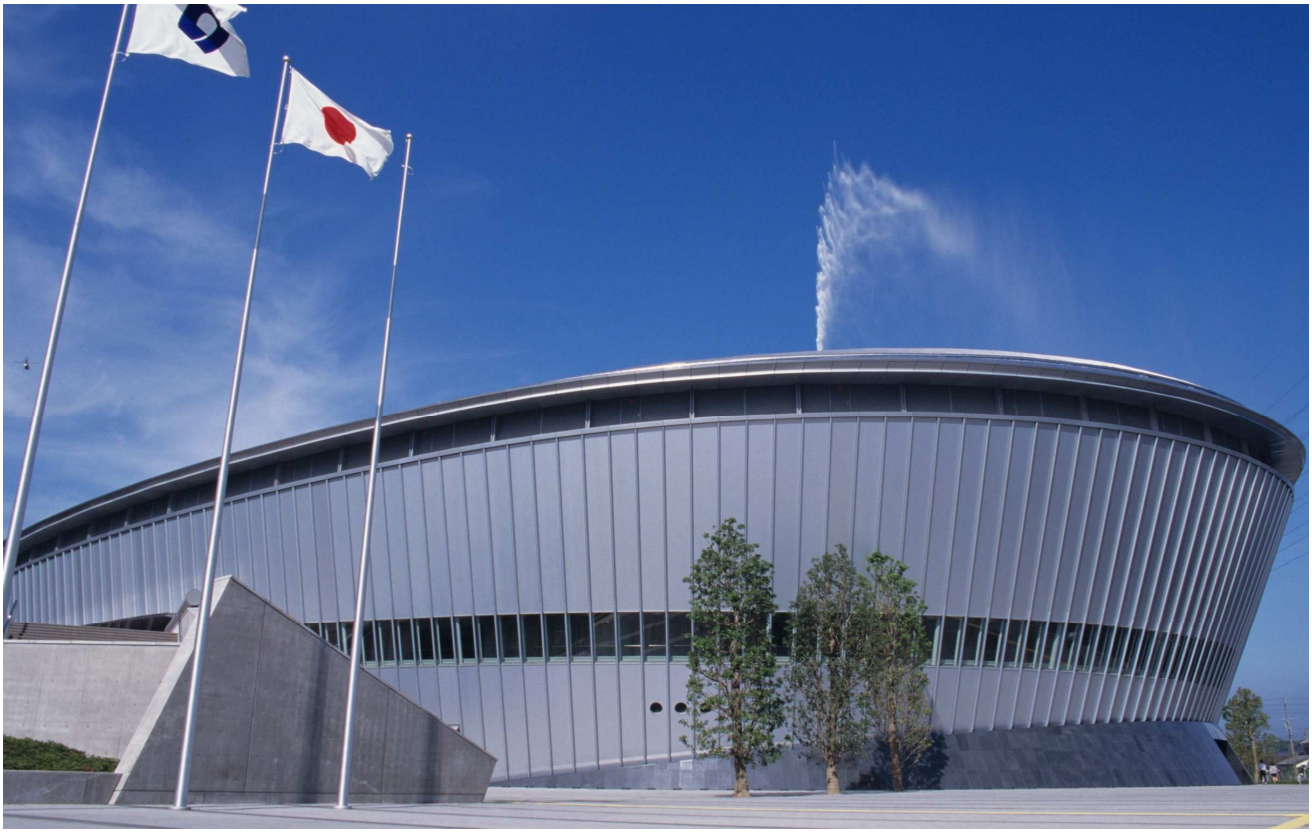
和歌山県
Wakayama Prefecture

和歌山だより

平成27年
(2015) 8月号



和歌山ビッグホエール（和歌山市）

CONTENTS

1. 知事メッセージ・・・・・・・ P1
2. 和歌山県政トピックス・・P2～P12
3. お知らせ・・・・・・・・・・・・ P13
4. ふるさと歳時記・・・・・・・P14～P15

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開催中です。御声援よろしくお願いします。
和歌山ビッグホエールでは、総合開会式と剣道が実施されました。

真田丸とエルトゥールル号

今年は、和歌山県の大当たり年です。４月２日から５月２１日までの大法会が高野山で行われ、全世界から弘法大師空海の偉業を偲んで６０万人の人々が訪れました。予想の２倍という大成果です。おかげで高野山の宿坊はもちろん、白浜や龍神の旅館などもお客様が随分来てくださったようです。このブームを長く続かせるように県では、色々と手を打っています。さらに７月の高校総体、９月の「紀の国わかやま国体」、１０月の全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」とビッグイベントが続き、天皇皇后両陛下をはじめ、たいへん多くの方々が和歌山にお見えになる予定です。なかなか気持ちの良い所であったと来訪者の方々に思ってもらえるよう笑顔と親切なおもてなしでお迎えいたしましょう。

来年になっても、まだまだヒットは続きます。紀北については何と言ってもＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」の登場です。真田幸村は、九度山に幽閉されて、さまざまな経験をした後、大坂冬の陣、夏の陣で大活躍をするのです。

紀南についてはエルトゥールル号の映画「海難１８９０」がお正月映画として封切られます。今から１２５年前トルコの軍艦エルトゥールル号が串本大島沖で嵐の中沈んだ時、危険も顧みず乗組員を助け、財産を投げ打って生存者の世話をした串本の人々の人類愛をトルコの人々はずっと欠かすことなく教科書に書いて讃えてくれました。トルコと日本の友好関係もここに始まったのです。そしてイラン・イラク戦争の最中孤立した日本人をわざわざ助けに飛んで来てくれたのはトルコ航空機でした。日本人もまたこの事を忘れてはいけないと思います。６月３日、これらの思いを胸に、彬子女王殿下やトルコ国会議長をお迎えしてエルトゥールル号殉難１２５周年追悼式が串本で行われました。

真田丸とエルトゥールル号、来年もまた和歌山県にとってのこれら２つのビッグチャンスを大いに発展に結びつけていきましょう。

7/14 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

＊ 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●全国高等学校総合体育大会が開幕！

・７月２８日、皇太子殿下御臨席のもと和歌山ビッグホエールにおいて、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の総合開会式が開催され、８月２０日まで続く熱戦の火蓋が切って落とされました。今年度のインターハイは、「２０１５ 君が創る 近畿総体」を大会愛称に、近畿２府４県で開催されています。

・開会式では、和歌山商業高校バトン部の先導で、各都道府県の選手団が入場し、最後に和歌山県選手団が入場した際には、場内がひときわ大きな拍手に包まれました。その後、皇太子殿下が、「この大会が、選手の皆さんの活躍と地元高校生の協力により、実り多いものとなるよう願っています。」とお言葉を述べられ、仁坂知事は、「高校生スポーツ最大・最高の祭典で、高校生らしいさわやかなプレーで多くの方に勇気と感動を与えてくれることを期待し、試合後には、地元高校生と交流を深め友情の輪を広げてください。」と歓迎の言葉を述べました。引き続き、「絆・バトン」をテーマに、箏の演奏、吹奏楽と創作ダンス、和太鼓と少林寺拳法演武、そしてマーチング＆フラッグ演技、組体操演技で構成された県内の高校生による演技で、来場された約３，２００人の方々を歓迎しました。また、歓迎演技終了後、皇太子殿下は大会運営に携わった高校生らと交流されました。

・県内では、７月２９日から紀三井寺公園陸上競技場において陸上競技が実施され、皇太子殿下は男子ハンマー投げ等の予選を御覧になり、選手の奮闘を見守られました。その中で、和歌山工業高校の 宮崎 慧二選手がハンマー投げで３位入賞を果たすなど、県選手団にとって幸先のよいスタートとなりました。８月３日からは、和歌山ビッグホエールにおいて剣道が実施されたほか、８月１２日から和歌浦湾・和歌山セーリングセンターにおいてヨットが実施されます。

・平成１７年７月の「第４１回献血運動推進全国大会」に御臨席以来、１０年ぶり６度目の御来県となった皇太子殿下は、そのほか県内を御視察されました。

・７月２７日は、広川町の「稲むらの火の館」を訪問され、濱口梧陵の功績や当時の状況をお聞きになりながら熱心に施設を見て回られました。その後、ホテルアバローム紀の国において、仁坂知事から県勢の概要について説明を受けられました。７月２８日は、和歌山市の県立博物館、かつらぎ町の神願寺・宝来山神社・文覚井を訪問され、中世の荘園「桛田荘（かせだのしょう）」の歴史について県立博物館の主任学芸員から説明を受けられました。７月２９日には、和歌山市の株式会社 島精機製作所を訪問され、島 正博社長から、縫い目のないニット製品が作れるホールガーメント横編機の説明を受けられました。また、海南市の紀州漆器伝統産業会館において伝統の漆器の技を御覧になり、南紀白浜空港から還啓されました。

・殿下がお立寄りされた施設やお通りになる沿道には、多くの県民の方々が日の丸を振って御来県を歓迎し、連日の炎天下にも関わらず奉送迎者数は３日間で延べ約４万２千人にも上りました。皇太子殿下からは、「１０年ぶりに和歌山県を訪れることができ嬉しく思います。暑い中、多くの県民の皆さんに温かく迎えていただき感謝します。」とお言葉を述べられました。

○近畿総体 優勝者（８月１０日現在）　（順不同、敬称略）

競技	種目	氏名	高校名
レスリング	男子７４ｋｇ級	吉田　隆起	県立和歌山北高等学校
少林寺拳法	男子団体演武、女子団体演武、女子組演武		県立神島高等学校
	女子単独演武	道根　綾乃	県立伊都高等学校
ソフトテニス	女子団体		和歌山信愛高等学校
	女子個人	笠井佑樹、鈴木梨沙	和歌山信愛高等学校
自転車競技	男子ﾁｰﾑ･ｽﾌﾟﾘﾝﾄ	永橋湧也、南潤、布居大地	県立和歌山北高等学校

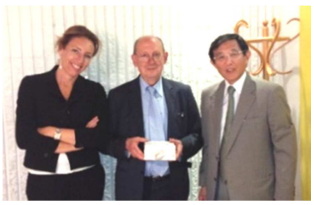
●知事がイタリアを訪問

・７月４日から７月９日までの日程で、仁坂知事はイタリア（ミラノ・ローマ）を訪問しました。
・ミラノでは、ミラノ国際博覧会日本館イベント広場で実施された「和歌山県の日」イベントに出演し、食と観光の観点から和歌山をＰＲしました。
・ローマでは、世界農業遺産の認定機関である国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）を訪問し、シルバ事務局長ほかと面談し、現在申請中の「みなべ・田辺の梅システム」をＰＲするとともに、早期の認定を要望しました。

ミラノ

○ミラノ国際博覧会：日本館イベント広場「和歌山県の日」出演

・７月５日、知事は、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに開催されているミラノ国際博覧会（５月１日～１０月３１日）の中で実施された「和歌山県の日」イベントに出演し、和歌山をＰＲしました。
・イタリアをはじめとする各国から１２０人以上が参加する中、ステージにおいて知事は、和歌山が誇る豊かな観光資源、自然の恵みを受けた「食」とその機能性について、イタリアとの類似性を織り交ぜながらプレゼンテーションしました。
・会場では、参加者に梅干し、梅酒、みかんジュースなどの県産品を振る舞い、和歌山の「食」をＰＲするとともに、県産品の魅力を味わっていただきました。また、原 康雄県農林水産政策局長が、世界農業遺産に申請中の「みなべ・田辺の梅システム」のプレゼンテーションを行い、認定に向けて積極的にＰＲしました。



・そのほか、知事は開催国イタリアから招待を受け、イタリア館を訪問し同館を視察しました。７月６日には、ミラノ市内のボッコーニ大学を訪問し、関係者と大学間交流について意見交換しました。

ローマ

○国連食糧農業機関（ＦＡＯ）：シルバ事務局長、セメド事務局次長を表敬訪問

・７月７日、知事は、世界農業遺産（ＧＩＡＨＳ）の認定機関であるＦＡＯを訪問し、グラジアノ・ダ・シルバ事務局長、マリア・ヘレナ・セメド事務局次長をそれぞれ表敬訪問しました。
・今回の訪問では、現在世界農業遺産に申請中の「みなべ・田辺の梅システム」をＰＲするとともに、早期の認定を要望しました。また、世界農業遺産への期待やその意義についても意見交換しました。
・シルバ事務局長は、「ＧＩＡＨＳに関しては、日本をはじめ中国、中南米、中近東、そして欧州と、認定を目指している国が増えてきて大変嬉しい。早期の認定に向けて応援する。」、セメド事務局次長は、「仁坂知事がＧＩＡＨＳに関心を持ってくださっていることを嬉しく思う。できるだけ早く審査したい。」と話されました。

今月の和歌山県政トピックス

●紀勢自動車道「南紀田辺ＩＣ～南紀白浜ＩＣ」が開通！！

・７月１２日、紀勢自動車道（田辺～すさみ）の南紀田辺ＩＣ～南紀白浜ＩＣ（延長１４㎞）が本格的な夏の観光シーズンを前に開通し、区間内にある上富田町の道の駅「くちくまの」で開通式典が盛大に行われました。
・関係者や地元の方など約１，８００人が出席する中、国土交通省近畿地方整備局の森 昌文局長は、「紀伊半島地域の高速道路ネットワークの構築に向け、一歩推進することができた。引き続き紀勢自動車道の早期全線開通を目指して、事業を推進していく。」と挨拶され、仁坂知事は、「夏の観光シーズンまでに開通したことを関係者に感謝するとともに、この道を使って郷土が発展できるよう、皆さんと一緒に頑張っていきたい。」と挨拶しました。そのほか、地元の高校生や住民による吹奏楽演奏、ダンス、獅子舞、餅まきなどが行われ、参加者は地元の思いのこもった祝賀イベントを楽しみました。
・紀勢自動車道は、近畿自動車道紀勢線の一部を担う延長３８㎞の国土開発幹線自動車道で、京阪神と紀伊半島の各都市を結び、輸送時間の短縮や一般道の混雑緩和を図り、地域の産業、経済、文化、観光振興と発展に寄与することを目的としています。
・今回の開通により、「命の道」として災害時の迅速な救助救援活動が可能となるほか、大都市圏からのアクセス向上により観光レジャーが活性化し地域経済の好循環が期待されます。なお、残る南紀白浜ＩＣ～すさみ南ＩＣ（延長２４㎞）については、８月３０日に開通する予定です。

●エコで美味しい豚肉の効率的な生産技術を実用化！

・県畜産試験場と近畿大学は、県が実施する「おいしい霜降り豚肉＆イノブタ肉生産技術の開発」を研究テーマとする農林水産業競争力アップ技術開発事業により、食味の良い筋肉内脂肪を高めた豚肉を、豚の発育に悪影響を与えず生産する技術開発とその実用化に成功しました。
・筋肉内脂肪の多い豚肉は、「やわらかさ」「ジューシーさ」「風味」が増し、食味が向上することがわかっていましたが、これまでの技術では、筋肉内脂肪を増やそうとすると豚の発育が悪化するなど、効率的な生産が難しいとされていました。
・今回の開発技術では、麺などの炭水化物を主としたカロリーアップ法と、飼料中のリジン（必須アミノ酸の一種）を低くせずタンパク質を増やすアミノ酸バランス法の併用が効果的であることを、日本で初めて実証しました。これにより、味と見た目に優れた豚肉の効率的な生産が可能となったほか、余剰食品を活用した「エコフィード」を使用することで、飼料コストを２０～３０％削減することができます。
・この新たな技術を核として、生産者、食肉関係者、エコフィード製造業者、畜産関係団体、近畿大学、県が構成員となった「和歌山ポーク肉質研究会」を発足し、産学官連携のもと、飼料給与方法の改善や、さらなる肉質の向上、和歌山ブランドの構築を目指します。

●子どもの安全対策について

・紀の川市や神奈川県川崎市をはじめ、刃物による殺傷事件で青少年が加害者や被害者になる痛ましい事件が相次いで発生しました。県ではこうした事件の課題を洗い出し、再発防止に向けた取組を強化し、県民の安全・安心な生活を守ります。

課題：地域の危険な情報が潜在化

対策１…「県安全・安心まちづくり条例」一部改正による県民からの情報提供の呼びかけ
→県民は、安全で安心な暮らしを害するおそれのある事態の発生に関する情報を知ったときは、県に対し、当該情報を提供するよう努める

対策２…行政相談窓口の連携体制を強化

対策３…犯罪に発展するおそれのある「危険性の高い情報」への対応
→子ども・女性を守る移動式防犯カメラの設置

課題：凶器が所持禁制品として未規制

対策１…危険な刃物の所持規制に向けた政府提案
→「銃砲刀剣類所持等取締法」で全国的な統一規制を国に要望

対策２…青少年に対する有害刃物類の所持規制
→「県青少年健全育成条例」一部改正を９月議会に提案

課題：各事件の背景等

対策…県の道徳読み物資料集「心のとびら」(小学校版)と「希望へのかけはし」(中学校版)に、新たに「人を思いやる温かい心」を育む教材を追加し、道徳教育を充実
→１０月中に、県内すべての小・中学校及び特別支援学校に配布

課題：子どもの「ＳＯＳ」のサインを拾い上げる仕組みが必要

対策…学校で子どもの行動に変化があった場合や、子どもからのＳＯＳに対応する「安全・安心サポートマニュアル」の新規作成
→８月中に、県内すべての小・中・高等学校及び特別支援学校にマニュアルを配布

●人と猫が共生する潤いのある社会の構築を目指して

・和歌山県では、猫に起因する苦情が減少せず、また、野良猫への無秩序な餌やり行為によって地域の生活環境に支障が生じる問題も起こっています。また、猫の殺処分数は、この１０年間であまり減少せず、人口１０万人当たりでは、４年連続ワースト４位という状況です。
・そのため、県では、地域の生活環境を保全し、猫の殺処分を「０」とするため「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」を一部改正することとし、来年２月議会への上程を予定しています。こうした取組は都道府県としては初めてのこととなります。

○飼い主と県民の皆さんにしていただきたくこと
- 飼い猫の野良猫化の防止…名札装着、室内飼養、不妊去勢手術など
- 地域猫対策…飼い主のいない猫のうち、地域住民や自治会などが餌やりやトイレの設置などのルールを守っていただくことで野良猫と区別
  不妊去勢手術による野良猫の増加阻止、餌やりとふん尿の適正処理による生活環境保全など
- 飼い猫、地域猫以外への餌やりの禁止

○県がすること
- 地域猫対策として、不妊去勢手術への助成

●高校生の県内就職を応援します！

・県では、高校生の県内企業への就職を促進し、和歌山の産業を支える人材を確保するための取組を進めています。
・６月には、初の取組として、就職を希望する高校３年生全員を一堂に集め、１１１社の県内企業による企業説明会「応募前サマー企業ガイダンス 2015」を、和歌山ビッグホエール、ビッグウェーブにおいて開催し、約２，０００人の高校生が参加しました。このガイダンスでは、新規高卒者の採用予定がある企業から、直接「企業の概要」、「仕事の内容」、「求めている人材像」などの説明を聞くことができ、就職に関する理解や意識を深める絶好の機会となりました。
・また、和歌山の暮らしやすさをデータで表したＰＲチラシ「高校生のみなさん和歌山で働きましょう！！」を、高校生全員に配布しています。(チラシについては７ページ、８ページのとおりです)
・７月には、来春高校を卒業する予定の生徒への求人枠の拡大と、早期に求人票が提出されるよう、経済５団体(県商工会議所連合会、県商工会連合会、県経営者協会、県中小企業団体中央会、和歌山経済同友会)に対する要請も行いました。
・今後も、高校生の地元での就職を支援していきます。

●和みわかやま・まるごとスタンプラリー実施中！

・７月１８日から来年３月３１日までの間、和みわかやまプレミアムキャンペーン特別企画として、「和みわかやま・まるごとスタンプラリー」を実施しています。
・このスタンプラリーは、聖地「高野山」、聖地「熊野」、道(熊野古道、高野山町石道など)、体験、温泉、食、産業(道の駅、おみやげ処など)、歴史、アミューズメント、宿泊の１０テーマを設定し、県内の多種多様で豊富な観光資源と紀北・紀中・紀南の３地域特有の観光資源の良さが再認識できます。
・また、スタンプを押して縦横斜めにビンゴができるたびに応募口数が増え、豪華賞品をゲットするチャンスが増加します。さらに、特定のスポットのスタンプを集めると、追加賞品が当たるダブルチャンス企画となっています。
・県内約２５０箇所の観光施設や飲食店などにスタンプを設置し、そのうち約１３０の施設で使えるクーポン券も付いていて、大変お得です。
・パンフレットは、県内主要駅、高速道路サービスエリア、スタンプ設置箇所、宿泊施設、観光案内所に配布しています。この機会に和歌山県をまるごと楽しんでみられてはいかがでしょうか。詳細はホームページを御覧ください。
http://www.wakayama-kanko.or.jp/information/2015/07/17/563/

高校生のみなさん和歌山で働きましょう！！

高校生のみなさん、和歌山県内の高校を卒業して就職した先輩の４人に3人は、県内の企業で働いています。みなさんも和歌山で就職して、自分が生まれ育った地元で家族や小さいころからの友達といっしょに地域の担い手として、豊かな生活をおくりませんか！！

暮らしやすい5つの視点

1 若い時期の充実した暮らし

和歌山と都市圏を比較した場合、初任給や勤務後約10年の月給には差がでますが、家賃や住宅の建築費用、物価指数を考え併せたとき、就職してからの若い時期に充実した生活を送ることができるのではないでしょうか。

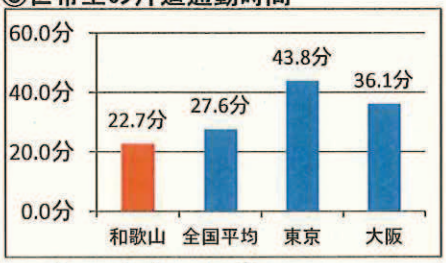
	和歌山	全国平均	東京	大阪
①高校卒初任給	156,500円	156,000円	164,700円	164,900円
②20～24歳の平均月給	201,700円	218,900円	234,000円	228,900円
③25～29歳の平均月給	247,100円	259,800円	287,200円	273,000円
④家賃平均月額	39,861円	54,052円	77,174円	53,603円
⑤1㎡当たり住宅地平均価格	35,400円	49,452円	317,000円	145,600円
⑥土地付住宅建築費	3,271万円	3,562万円	5,154万円	3,916万円
⑦消費者物価地域指数【※】	102.0	100.0	105.9	100.6

【※】全国の51市（県庁所在市と政令指定都市）の平均を100とした場合の数値

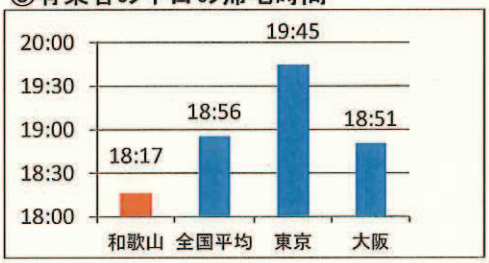
2 心豊かな暮らし

和歌山県の通勤時間は22.7分と全国平均より短く、働いている人の帰宅時間は18時17分と全国平均より約40分早く、また持ち家比率は74.8%と全国平均より13.1%高くなっています。みなさんも仕事とプライベートにメリハリをつけて、心豊かな生活を送ってはどうでしょうか。

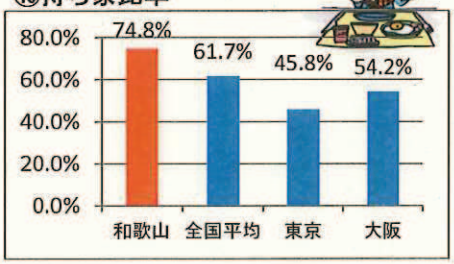
⑧世帯主の片道通勤時間



⑨有業者の平日の帰宅時間



⑩持ち家比率

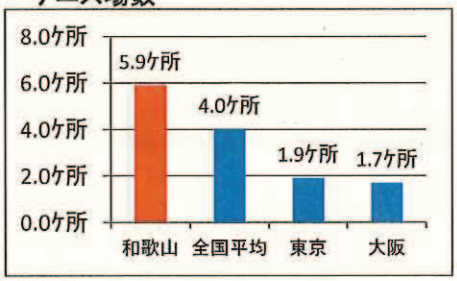


3 余暇を楽しむ暮らし

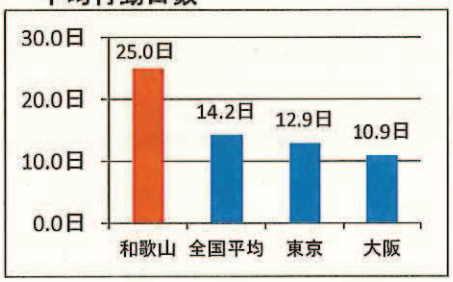
和歌山県では、テニス場等のスポーツ施設が多くあります。さらに、「2015紀の国わかやま国体」に向けて、秋葉山公園県民水泳場、和歌山ビッグウェーブ、田辺スポーツパーク等を整備し、スポーツ施設が一層充実しました。また、川や海等の自然や歴史・伝統がある建造物もたくさんあります。

みなさんも、友達とスポーツや趣味の時間を楽しんで健康的、文化的な生活を送ってはどうでしょうか。

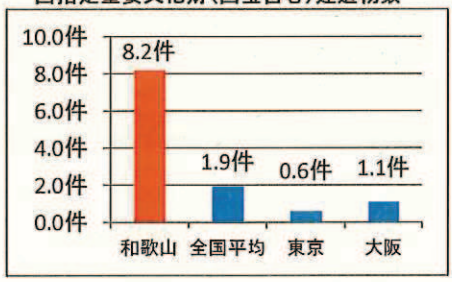
⑪人口10万人当たりのテニス場数



⑫釣りにかける1年間の平均行動日数



⑬人口10万人当たりの国指定重要文化財（国宝含む）建造物数



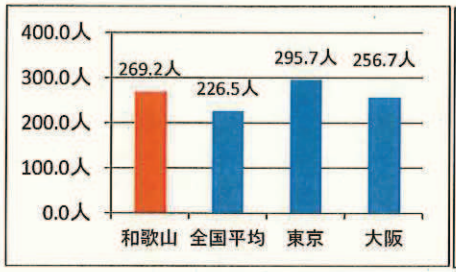
《出典》

①②③H25賃金構造基本統計【企業規模10人以上】（厚生労働省）④H25住宅・土地統計調査（総務省）
⑤H26都道府県地価調査（国土交通省）⑥H24独立行政法人住宅金融支援機構調査　⑦H25平均消費者物価地域差指数
⑧⑩H25年住宅・土地統計調査（総務省）⑨⑫H23社会生活基本調査(総務省)⑪H23社会教育調査（文部科学省）⑬文化財指定等の件数（文化庁）【H27.5.1時点】

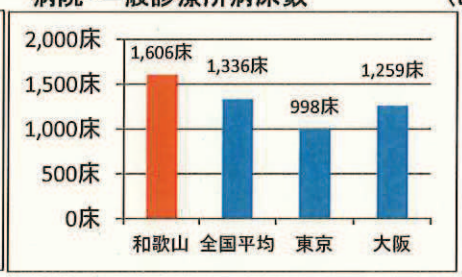
4 安心・安全な暮らし

和歌山県は、人口に対する医師の数や入院できるベッドの数が全国平均より多く、病気になったとき適切に医療の提供を受けることができます。また、刑法犯の減少率はピーク時と比較した場合、62.5%減少しており、減少率は全国平均より8.5%も高く、毎日の生活を安心して安全に暮らすことができるようになっています。

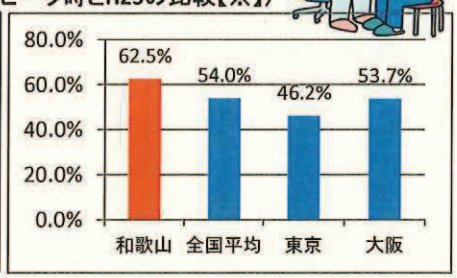
⑭人口10万人当たりの医師数



⑮人口10万人当たりの病院・一般診療所病床数



⑯刑法犯罪の減少率（ピーク時とH25の比較【※】）

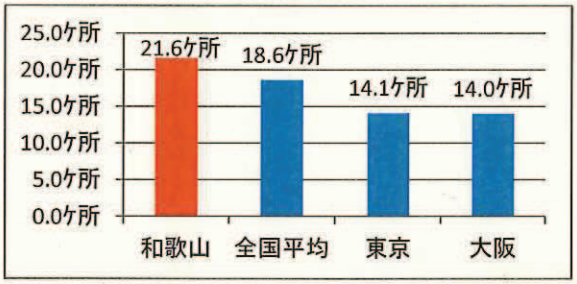


【※】ピーク時
→全国と東京は平成14年度、大阪と和歌山は平成13年度の刑法犯罪認知件数

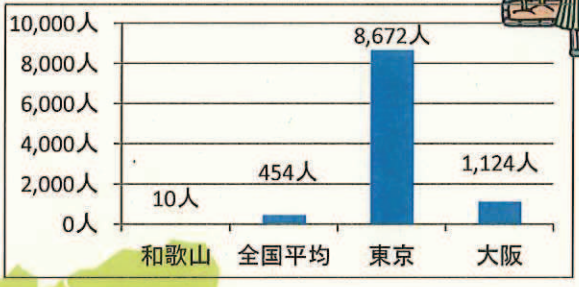
5 子育て環境が整った暮らし

和歌山県の子育て環境を見たとき、人口に対する保育所数は多く、また待機児童もほとんどいない状況で、仕事と家庭のバランスを保ちながら子育てをすることができます。

⑰人口10万人当たりの保育所数

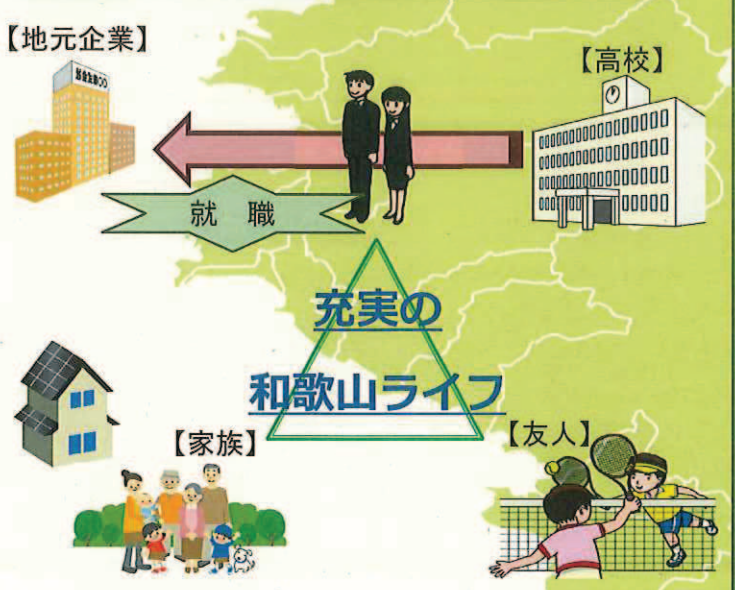


⑱待機児童数【平成26年4月1日時点】



《出典》
⑭医師・歯科医師・薬剤師調査【H24.12.31時点】（厚生労働省）⑮医療施設調査【H24.10.1時点】（厚生労働省） ⑯H25犯罪統計書（警察庁）
⑰社会福祉施設等調査報告【H24. 10. 1時点】（厚生労働省） ⑱H26厚生労働省記者発表資料

就職後の和歌山ライフ



地元企業へ就職したら!!

【安心できる生活】
- 家族と一緒に（近くで）暮すことができる
- 困ったことがあれば学校の先生や親しい友達にいつでも相談できる

【ゆとりのある生活】
- 通勤時間が短く、自分の時間を多く持つことができる
- 住宅等に係る費用も少なく、経済的にゆとりを持った生活ができる

【地域に密着した楽しい生活】
- 友達と一緒にスポーツやつり等の趣味を楽しむことができる
- 地域の伝統や文化にふれ、郷土愛を持った担い手として活躍ができる

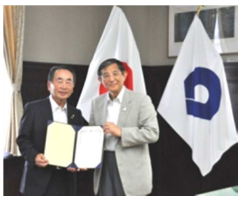
和歌山県　商工観光労働部　商工労働政策局　労働政策課
〒640-8585　和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL:073-441-2805　FAX:073-422-5004

●平成２８年度新政策について

・４月から各部において検討してきた平成２８年度の新政策について、７月３１日、知事との協議を開始しました。県では、和歌山の元気の創造に向け、平成２０年３月に「和歌山県長期総合計画～未来に羽ばたく元気な和歌山～」を策定し、この計画に掲げた将来像をより効果的かつ効率的に実現していくため、毎年度、計画に掲げた目標の達成度を注視しながら、各事業を常に見直ししていくとともに県政の課題に対応する新たな政策を創出していくこととしています。この進行管理のプロセス全体を「新政策プロセス」と呼んでいます。また、そのプロセスから生み出された、各年度に重点的に取り組むべき政策を「新政策」と呼んでいます。
・今後、こうしたプロセスに沿って、どんどん検討を重ね磨きをかけ、秋には新政策の骨子ができます。その後、予算編成に入り、２月には新政策と予算案を発表、議会に審議をお願いし、３月にようやく完成します。このように、１年の歳月をかけて、県庁あげて新政策に取り組んでいます。

●県とﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会 335-B 地区がﾗｲﾌｼﾞｬｹｯﾄの配備を推進する共同宣言署名

・７月１５日、県とライオンズクラブ国際協会３３５－Ｂ地区は、南海トラフ地震による津波の被害から「子どもの命を守る」ため、津波浸水想定地域に所在する保育所、幼稚園、小中学校等にライフジャケットの配備を推進する共同宣言の署名を行いました。
・大規模地震が発生した場合、県内沿岸部では甚大な津波被害が予想されていますが、ライフジャケットを着用することで、命が助かる可能性があるとされています。県はこれまで御坊市・日高郡以南の学校等にライフジャケットの配備を進めてきましたが、今回の共同宣言により、同クラブからライフジャケットを寄贈していただくこととなり、県内すべての津波浸水想定地域の保育所、幼稚園等へ早期に配備されることが期待されます。
・署名式において、同クラブの 中村 猛地区ガバナーは、「南海トラフ地震に対してはライフジャケットが子どもの命を助ける手段になると確信し、この宣言をスタートとしてライフジャケットの寄贈に取り組んでいきたい。」と話されました。



●県内小学校へ「もも」を提供しました

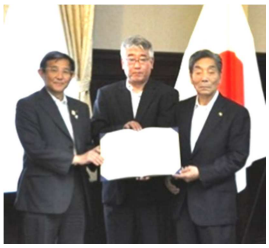
・先月号でもお知らせしましたが、県では地産地消の取組として、平成２４年度から県内小学校・特別支援学校の給食や家庭科等の教材として、「うめ、もも、かき、みかん、魚」といった主要農水産物を提供しています。今年度の第２弾として、県内の国公私立小学校・特別支援学校２５９校に「もも」を提供し、子どもたちが包丁を使って、皮むきや調理実習等の体験を行いました。また、農家の方と県職員が以下の小学校に出向き、「ももの生産状況」等について説明する出前授業を行いました。
・出前授業を受けた子どもたちは、「とても甘くて美味しかった！」、「農家の人は大切にももを育てていることがわかった。」と話すなど、大盛況でした。
○出前授業実施校…岩出市立上岩出小学校、美浜町立和田小学校、串本町立古座小学校
海南市立北野上小学校、紀の川市立丸栖小学校、橋本市立恋野小学校
有田川町立鳥屋城小学校すさみ町立江住小学校

今月の和歌山県政トピックス

●株式会社 セールスフォース・ドットコムが白浜町へ進出

・７月１５日、米国に本社を置く 株式会社 セールスフォース・ドットコム(日本法人)が、白浜町にサテライトオフィスを設置することが決定し、県及び白浜町と進出協定の調印を行いました。調印後、仁坂知事は、新オフィス開設にあたり白浜町を選んでいただいたことにお礼を述べ、同社の 川原 均社長は、「白浜で業務を継続していきたい。」と話されました。
・同社は、顧客管理や営業支援ソリューションを中心としたクラウドサービスを提供しており、世界有数の経済誌である米 Forbes 誌において、世界で最も革新的な企業１位を４年連続(2011～2014)で獲得しています。この度、総務省による「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」に採択され、白浜町ＩＴビジネスオフィスにおいて、関係する数社とクラウドサービスを有効活用したテレワーク拠点「Salesforce Village」を開設する運びとなりました。県では、これを契機として都市部からの情報サービス産業の進出が一層進むことを期待しています。
・新オフィスは平成２８年３月総務省の実証事業終了後に操業開始予定で、３年間で新規地元雇用者４名が見込まれています。

●株式会社 梅丹本舗が新工場を建設



・７月１７日、大阪府摂津市に本社を置く 株式会社 梅丹本舗 が、紀の川市に自社工場を建設することが決定し、県及び紀の川市と進出協定の調印を行いました。調印後、仁坂知事は、紀の川市に進出を決めていただいたお礼を述べ、同社の 松本 喜久一社長は、「創業以来、製品には和歌山の梅だけを使っており、和歌山に拠を構えたいと考えていた。」と話されました。
・同社は、大正１４年の創業時から梅肉エキス関連商品を製造販売し、昨今はアスリート向けの商品も開発するなど注目を集めています。その品質は、大手百貨店や各種専門店、さらには海外からも高い評価を受けています。長年培われた技術を生かし、自社生産による商品の製造能力を増強し、さらなる販路拡大のため新工場を建設する運びとなりました。
・新工場は平成２８年４月に操業開始予定で、新規地元雇用者１３名が見込まれています。

●ライオンケミカル 株式会社が新工場を建設

・７月２２日、有田市を拠点とする 株式会社 三和のグループ企業である ライオンケミカル 株式会社が、和歌山市小倉に新工場を建設することが決定し、和歌山市役所において進出協定の調印を行いました。これで、上記２社を含めた平成１８年１２月以降の企業立地件数は、１４１件となりました。
・同社は、蚊取り線香工場として明治１８年に創業以来約１３０年にわたって培った技術で、現在では蚊取り線香のほか、洗浄剤や脱臭剤、芳香剤など様々な家庭用品を手がけています。今回の新工場の建設により、生産能力の大幅な増強が可能となるとともに、和歌山ＩＣから近いという物流面でのメリットも生かし、さらなる販路拡大を目指します。
・新工場は平成２８年３月に操業開始予定で、新規地元雇用者２０名が見込まれています。

●紀の国わかやま国体における自衛隊協力に係る協定を締結

・６月３０日、紀の国わかやま国体の開催にあたって、以下のとおり競技が安全かつ円滑に運営できるよう自衛隊の協力が得られることとなり、陸上自衛隊第３師団 小林 茂師団長と紀の国わかやま国体・大会実行委員会会長の仁坂知事が、支援内容等を定める協定を締結しました。知事は、日頃からの災害訓練への参加のお礼、専門的技術を有する自衛隊の協力に対する期待、そして紀の国わかやま国体成功に向けた決意を述べました。

競技名	開催地市町村	主な協力業務	協力部隊
銃剣道	海南市	会場設営・撤去 競技会運営補助等	第３７普通科連隊 (信太山駐屯地)
自転車 (ロード・レース)	印南町	無線通信網の確保 失格者及び自転車の収容等	第３７普通科連隊 (信太山駐屯地)
カヌー (カヌースプリント)	日高川町	水難者の救助 救助艇の操縦等	第３７普通科連隊 (信太山駐屯地)
カヌー(カヌースラローム・ カヌーワイルドウォーター)	北山村	水難者の救助 艇の運搬等	第３７普通科連隊 (信太山駐屯地)
馬術	兵庫県三木市	障害物の設置・撤去 選手の救助等	第３特科隊 (姫路駐屯地)
ボート	滋賀県大津市	発艇補助 (ウォーターマン)	第３戦車大隊 (今津駐屯地)

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に係る企業協賛及び募金感謝状贈呈

・７月１４日、企業協賛制度による「オフィシャルサプライヤー」として新たに協賛いただくことが決定した企業、及び紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)に多額の寄附をいただいた団体の方々に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。

	企業名	提供内容	出席者
ｵﾌｨｼｬﾙ ｻﾌﾟﾗｲﾔｰ	(株)城山	携帯電話及び無線機の貸与	寺尾 正 代表取締役社長
	アイコム(株)	無線機の貸与	福井 勉 代表取締役社長
	和歌山マリーナシティ(株)	テーマパーク入場券	堀内 孝治 常務取締役

	団体名	出席者
寄附者	公益財団法人 奥田育英会	平井 孝始 副理事長

●わかやま市民生活協同組合が「企業の森」に係る協定に調印

・７月１３日、わかやま市民生活協同組合(和歌山市)が、日高川町において県の「企業の森」事業を活用し、「コープきょうどうの森」として森林保全活動を実施することとなり、協定の調印式を行いました。同組合には、平成２０年から古座川町でも同事業に参画していただいており、今回県内２か所目となりました。

・「企業の森」は、企業や労働組合などの方々にＣＳＲや社会環境貢献活動、地域との交流活動の一環として、県内の森林環境保全に様々な形で取り組んでいただく事業で、これで、参画企業・団体数は６５、活動場所は６８か所となりました。今回の「コープきょうどうの森」では、今後１０年間にわたり、植栽や下草刈りの森林保全活動に取り組まれます。

今月の和歌山県政トピックス

●平成２７年度わがまち元気プロジェクト第２弾決定！

・県では、地域固有の資源を活用し個性豊かで活力ある地域づくりを推進する市町村等に対し、総合的に支援していますが、この度、紀の川市の川原げんき村協議会が実施する「里山の魅力発見！紀の川市『川原げんき村』創造プロジェクト」への支援を決定しました。
・このプロジェクトは、地元住民が主体となって川原の魅力に磨きをかけ、里山の暮らしや風景が楽しめる新たな名所づくりと特産品の活用による名物づくりに取り組むことで、地域外からの誘客と名物の販売を促進し、「川原げんき村」を創造することを目指すものです。今後、次の３つの柱により取組が進められます。
○里山の暮らしや風景が楽しめる「新たな名所づくり」
　→遊休農地を整備し、収穫から加工まで体験できる農作業体験等を実施など
○特産品の活用による名物づくり
　→地域内に食品加工・製造ができる拠点を設置など
○誘客・販売の仕掛けづくり
　→イベント情報や四季折々の魅力をインターネット上に掲載など

・こうした取組を通じて、平成３０年度の観光客数３，０００人（平成２６年度：５００人）、地域特産品の商品化１０商品（平成２６年度：０）を目指します。

●「在京和歌山県人会」総会が開催されました

・７月５日、ホテルルポール麹町（東京都千代田区）において、在京和歌山県人会通常総会・懇親会が開催されました。
・総会の冒頭、谷口 博昭会長は、今年が高野山開創１２００年の年であることや、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会が開催されることを紹介。さらに、近畿自動車道紀勢線や那智勝浦道路、京奈和自動車道などの工事も進んでいることを紹介され、「郷土発展のために、在京県人会も支援していきたい。」と挨拶されました。

・その後、余興のイタリア民謡が流れる中、市町村ごとに設けられた各テーブルで、ふるさとの思い出話に盛り上がり、最後には恒例の抽選会も実施され、大いに賑わいました。
・在京和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税等で御協力をいただいていることに感謝申し上げます。

●「大阪和歌山県人会」総会が開催されました

・７月２５日、大阪市のホテルアウィーナ大阪において、大阪和歌山県人会総会・懇親会が開催されました。
・総会の冒頭、佐竹 和彦会長から出席の方々にお礼を述べられるとともに、「今年、近畿連合和歌山県人会の代表幹事として、各県人会間の交流、また、ふるさと和歌山のために寄与できることを念頭において頑張りたい。」と挨拶されました。
・歓談の合間には、アトラクションとして、豊来家玉の助師匠による曲芸が披露され、会場は一層盛り上がりました。
・大阪和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税等で御協力をいただいていることに感謝申し上げます。

ふるさと和歌山応援寄附のお礼とご案内

ふるさと和歌山応援寄附の取組に、多数の皆様のご理解とご賛同をいただき誠にありがとうございます。

お陰をもちまして、平成２６年度は１９３名の方から２１，８３８，７４５円の温かいご寄附を賜りました。また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、次のとおり活用させていただきましたのでご報告申し上げます。

ふるさと和歌山応援寄附金の活用

寄附金活用事業

「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」として
- 熊野三山の熊野参詣道等の復旧、保全　450万円
- 丹生都比売神社本殿の防災施設・境内の保存整備　250万円

「わかやま国体の開催に向けての準備」として
- 国体開催のための競技用具整備　510万円

「わかやまの美しい海づくりの推進」として
- 海水浴場の整地や海岸保全施設の修繕　70万円

「わかやまの文化財の保護を進める」として
- 琴の浦温山荘園の保存整備　170万円
- 旧西村家住宅の保存整備　20万円
- 宝来山神社本殿の保存整備　170万円

「学校図書館や県立図書館の蔵書の充実」として
- 県立学校の図書館の蔵書の充実　170万円
- 県立図書館の蔵書の充実して県民・市町村への貸出しを推進　170万円

「大切なふるさとの森を守り育てる」として
- 病害虫等に対する防除対策による森林保全　320万円

この他の施策も積極的に推進していますので、本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援してくださいますようお願い申し上げます。

「ふるさと和歌山応援サイト」では、寄附申出時に公表に同意していただいた方のお名前や応援メッセージを掲載していますので、ぜひご覧ください。

ふるさと和歌山応援サイト　検　索

URL http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/

イベント情報(８月１１日～９月１０日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
8/13	ろうそく祭	高野町・奥之院参道	高野町産業観光課 0736-56-3443
8/14	下駄市	海南市・黒江川端通り	下駄市実行委員会 073-483-5220
8/14	野の送り念仏	橋本市野地内	橋本市社会教育課 0736-33-1111
8/15	興国寺火祭り	由良町・興国寺	興国寺 0738-65-0154
8/15	塩津のいな踊り	海南市・蛭子神社前広場	塩津のいな踊り保存会 073-492-3015
8/15	嵯峨谷神踊り	橋本市・若宮八幡神社	はしもと広域観光 案内所　0736-33-3552
8/16	椎出鬼の舞	九度山町・椎出厳島神社	椎出鬼の舞保存会 0736-54-4365
8/16	傘鉾	九度山町・古沢厳島神社	厳島神社総代代表 0736-54-2723
8/23	二河の火祭	那智勝浦町・ 二河三光山金剛寺	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
8/26～ 8/30	熊野水軍埋蔵金探し	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
8/29	八咫の火祭り	田辺市・大斎原	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
9/3	光三宝荒神社「献灯祭」	橋本市・光三宝荒神社	光三宝荒神社 0736-32-7484
9/6	ｷｬﾝﾄﾞﾙﾗｲﾄｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ in あらぎ島 vol.9	有田川町・あらぎ島	有田川町産業振興室 0737-52-2111

下駄市は、日本の三大漆器産地の一つとして知られる海南市黒江の川端通りで、毎年８月１４日に開催されます。
１００年以上の歴史があるといわれ、江戸時代に漆器職人が、盆の薮入りに新しい下駄でふるさとへ帰省するのにあわせて、下駄の市ができたのが始まりとされます。
多くの夜店が並び、長らく途絶えていた下駄の販売も数年前から再開されたほか、浴衣コンテストなども行われるなど、多くの人出で賑わいます。

自然・風物情報(８月中旬～９月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
８月中旬	ブドウ狩りオープン	有田川町・有田巨峰村	有田川町商工観光課 0737-52-2111
		田辺市・紀南観光ブドウ園	紀南観光ブドウ園 0739-24-2305
８月下旬	イチジク出荷最盛期	紀の川市	JA 紀の里農産物流通 ｾﾝﾀｰ　0736-73-7200
９月上旬	トビウオ漁最盛期	串本町・串本漁港	和歌山東漁港 0735-62-0080

有田巨峰村では、毎年８月中旬から９月下旬にかけて巨峰がたわわに実り、多くの家族連れで賑わいます。
秋には栗狩りも楽しめます。
和歌山県の平成２６年産のブドウ収穫量は、１，６２０ｔで全国２２位となっています。

主に串本周辺海域で捕られるトビウオは、刺身、タタキ、塩焼き、天ぷら、干物、寿司などにして食べられます。
名前のとおり大きな胸びれを広げて、海上を飛びます。
南の海の魚で本州最南端串本町では町の魚に指定され、トビウオでまちおこしを図っています。

～編集後記～

７月下旬には全国各地で梅雨が明け、夏本番といった暑さが続いていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。連日ニュース等で、各地で３５度以上の猛暑日となっていることを目にしていますので、熱中症にはくれぐれもお気をつけください。

７月、梅雨時期としては１３年ぶりに台風が３つ同時発生しました。和歌山県内では、台風１１号の接近により記録的な大雨となり、人的被害はありませんでしたが、熊野川の一部が氾濫し、かなりの住宅で床上浸水にあわれるなど、大きな被害がもたらされました。とりわけ、ＪＲきのくに線の広川ビーチ駅付近で発生した土砂崩れでは、通常運行まで１０日程度要するなど、県民の皆さんの交通に重大な影響を及ぼしました。さらに、夏の観光シーズンスタートという時であったため、大きな痛手となりました。

県では、平成２３年の紀伊半島大水害を教訓として、最長５１時間先の降水量を予測できる最新の気象システムを活用し、住民の皆さんの安全を考慮し早期の避難を誘導してきたところです。今後も、市町村と連携しながら、防災情報をリアルタイムでお知らせできるよう取り組んで参ります。

さて、７月２８日から全国高校総体が開幕し、近畿２府４県で熱戦が繰り広げられています。和歌山県では総合開会式が実施され、県内の高校生を中心に、和歌山らしさやおもてなしの心が随所に見られる爽やかな演出で、来県された方々をお迎えしました。また、少林寺拳法やソフトテニスなどの競技において、県選手団が優勝を果たすなど、「紀の国わかやま国体」の男女総合優勝につながるような活躍を見せてくれていますので、ますます期待は膨らんでいるところです。

暦の上では、秋の気配もそろそろ見られる時期となりましたが、厳しい暑さが続きます。そして、全国高校総体、全国高校野球選手権大会など若さ溢れる熱戦も、まだまだ続きます。皆さんの応援をよろしくお願いします。

知事室秘書課長　中村　一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のＦＡＸ（様式自由）、E-Mail 等でお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail　e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ　http://www.pref.wakayama.lg.jp/

ふるさと和歌山応援ｻｲﾄ　http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。

2015 年（平成 27 年）　８月　NO.８８

和歌山県　秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通１－１
TEL 073-441-2022